**単結晶X線構造解析 依頼書（学外用）**

下記試料の分析を岡山大学自然生命科学研究支援センター分析計測分野へ依頼します。

 **申込日\*　　　年　　月　　日**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **依頼者\*1** |  | **User ID\*1** |  |
| **所属機関\*1** |  | **依頼者****TEL\*1** |  |
| **利用責任者\*1** | **㊞** | **依頼者****E-mail\*1** |  |
| **試料名** | 半角英数20字程度 |
| **予想分子式** |  |
| 予算上限\*2 | 円 | 測定目的\*3 | □簡易　　□通常　　□精密 |
| **解析難航の場合\*4** | □標準解析終了時点で一旦終了　　□予算内で可能なところまで続行 |
| 結晶化溶媒 |  | 易溶性溶媒 |  | 難溶性溶媒 |  |
| 再解析依頼時のみ | 前回測定時の　測定日：　　　　　　受付No.： |
| データ様式 | □解析結果データのみ　□測定生データ＋解析結果データ |
| 引渡方法 | □職員室で引渡　□メール添付　□DVD保存（110円） |
| 予想構造 |
| ・初回相談書は：　□初回利用なので同時提出　　□**提出承認済（受付日**　　　　　　　　　　　　　）・**「分析計測分野利用要項」**の内容は　　□**確認済み**である。・測定後に，残った試料はすぐに返却します（返却法：□来訪引き取り，□宅急便着払）。・測定に用いた結晶の回収を希望される場合は、あらかじめお伝えください。・測定条件を指定される場合は任意様式にて添付してください。・測定結果お引渡し後に，登録請求先に請求書を送付します。利用料金は請求書発行翌日から30日以内にお支払い下さい。 |

ここまでは申込者がご記入ください。**太字部**は必ずご記入ください。

以下、分析計測分野記入欄

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 解析終了日 |  | データ引渡日 |  |
| 測定者 |  | 測定装置 |  |
| 解析結果 |  A ・ B ・ C | R1(%) |  |
| A：on-line checkCIF（http://checkcif.iucr.org/）でAlert-A、Alert-Bが残らないB：おおよその構造は見えるが、上記Alertが残るC：構造が全く見えない |
| 請求料金 | 基本料金：　33,000円(税込)（1時間の測定料金を含む） |
| 測定・解析料金　11,000円／時間(税込) | 測定・解析時間 | 時間 |
| 追加消耗品等 ： 円(税込) |
| **合計請求額　：** **円(税込)** |
| 測定温度 | ℃ | 結晶サイズ |  | 装置使用時間 |  |
| U結晶形状 |  | 結晶の色 |  | マウント方法 |  |
| Shelx テキスト編集　有・無 | Disorder　　　　　　有・無 | Twin　　　　　　有・無 | squeeze　　　　　　　有・無 |

\*1：必ずユーザー登録された方の情報をお書きください。

\*2：試料1点当たりの支払い可能上限額を記入してください。未記入の場合は300,000円として扱います。

\*3：測定時間の判断に用います。「簡易」の場合は、なるべく短い測定時間とします。「精密」の場合は結晶の選定を含めて、十分な時間をかけて測定を行います。「通常」の場合は標準的な条件を用います。（指定がない場合は「通常」として扱います。）

\*4：「標準解析終了時点で一旦終了」を選択した場合、2時間程度の標準的な解析を行い、容易に解析が収束しないと判断される場合には、その時点で解析を終了します。「予算内で可能なところまで」を選択した場合には、予算の範囲内でそのまま解析を継続します。（一般的に標準的な解析を行っても十分な解析結果が得られない場合、そのまま解析を継続して結果が劇的に改善されることは稀です。解析を継続するよりも、結晶を再度作成して測定からやり直した方が、結果的に早く良好な結果が得られる場合もあります。）

\*5：測定を中断した場合でも、その時点までの料金は請求させていただきます。

測定・解析時間算出ルール

**【結晶選定開始から、解析終了までの実所要時間が8時間未満の場合】**

測定開始から、解析終了までの実所要時間を「測定・解析時間」とします。

**計算例１**（測定、解析ともに順調な場合）

10:00～11:00　結晶選定　（装置使用1 h、測定者拘束1 h）

11:00～14:00　測定　（装置使用3 h、測定者拘束×）

14:00～16:00　解析　（装置使用×、測定者拘束2 h）

↓

測定・解析時間＝6時間

**【結晶選定開始から、解析終了までの実所要時間が8時間以上の場合】**

装置使用時間：A

測定者拘束時間（測定、解析共通）：B

↓

AとBのうち、長い方を「測定・解析時間」とします。

**計算例２**（長時間測定が必要な場合）

15:00～16:00　結晶選定　（装置使用1 h、測定者拘束1 h）

16:00～翌9:00　測定　（装置使用17 h、測定者拘束×）

9:00～11:00　解析　（装置使用×、測定者拘束2 h）

↓

測定・解析時間＝18時間

**計算例３**（解析が難航した場合）

10:00～11:00　結晶選定　（装置使用1 h、測定者拘束1 h）

11:00～14:00　測定　（装置使用3 h、測定者拘束×）

14:00～20:00、翌9:00～12:00　解析　（装置使用×、測定者拘束9 h）

↓

測定・解析時間＝10時間